

2012年10月1日

アメリカ合衆国大使館 気付
バラク・オバマ大統領 閣下

アメリカ合衆国における核実験の実施に抗議します

貴国が、2012年4月から6月の間に実施した核実験は、核兵器廃絶を求める世界の世論に逆行するものです。また、他国に核開発の口実を与えるものでもあり、断じて許すことはできません。

今回判明した核実験は、2010年11月より実施された新たな手法（Zマシン）によるものとして2011年11月につづき5回目であり、「核兵器のない世界」の追求を掲げるオバマ大統領のもと、貴国が核兵器の維持・向上を目指して核実験をやり続けることは、核兵器廃絶を求める世界の人々を裏切る行為であり、厳しく批判されるべきものです。このような独断的な行動は、国際的に許されることではありません。

あらためて、貴国がただちにこのような核実験を中止し、2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議において確認された核兵器廃棄の明確な約束を果たし、核兵器を廃絶するための具体的施策を早急に実施することを求めます。

日本生活協同組合連合会

〒150-8913 東京都渋谷区渋谷 3-29-8

TEL03-5778-8124

FAX03-5778-8125